PosiTector® 200

Ultrasonic Coating Thickness Gage

On-Gage Help Reference

計器上ヘルプのリファレンス

DeFelsko®
The Measure of Quality

情報

このリファレンスは、PosiTector で利用可能な計器上のヘルプをまとめたものです。計器上でこれらのヘルプ項目を表示するには、計器のメニューに入り、アイコンをタッチ ⓘ するか、希望するメニュー項目が選択されたボタンを押 ⊕ 下します。

計器の使用と操作の概要については、付属の取扱説明書を参照するか、
www.defelsko.com/manuals で PDF をダウンロードしてください。

PosiTectorがこれらの最新のヘルプリファレンスを含むように、計器を更新してください。取扱説明書は、www.defelsko.com/updates で入手できます。

Contents

メモリ 3
開く 3
閲覧 3
ディスプレイ 3
プロンプトバッチ 3
注釈 4
印刷 4
テンプレートの削除 4
新 PA9 4
新規バッチ 5
閉じる 5
削除 5
バッチ要約 5
校正設定 6
零点調整 6
校正メモリ 7
校正初期化 7
校正ロック 7
ポリウレア 7
測定範囲 7
厚さ 8
条件設定 9
時計設定 9
初期化 9
層数 10
層の選択 11
層の編集 11
単位 11
バッテリ種別 11
音量 11
タッチスクリーン 11
バックライト 11
反転ロック 12
グラフィック 12
最大厚さモード 12
言語 13
機器情報 13
接続 14
Bluetooth 14
有効化 14
Bluetooth 設定 14
入力デバイス 14

キーボード 14
電源断時間 14
バッチ転送 15
バッチ同期 15
Bluetooth クラシック 15
ペアリング 16
有効化 16
ストリーム 16
情報 16
スマートプローブ 16
USB 16
同期 16
USB ドライブ 17
JSON ファイル 17
HTML レポート 17
ストリーム 18
自動同期 18
USB キーボード 18
キーボードのフォーマット 18
WiFi 19
条件設定オプション 19
AP チャネル 19
計器名 19
サーバ有効化 19
IP 設定 20
AP パスフレーズ 20
WiFi 初期化 20
WiFi ストリーム 20
自動同期 20
アクセスポイント 21
有効化 21
ネットワーク 21
WiFi 情報 21
同期 22
更新 22
ヘルプ 23
電源切断 24

メモリ

ポジテクタ200高機能型は、測定値の記録用に内部メモリを有しています。画面上で、保存測定値を閲覧したり、PC、タブレット、スマートホンからアクセスすることができます。測定値には、日付及び時刻が貼付されています。1,000バッチ、250,000件までの読取値を格納できます。

計器に測定値を格納すると、メモリアイコンが表示され、基本統計量が表示されます。

注記:

(-)を押下することにより、最終読取値を削除します。

開く

作成済のバッチあるいはサブバッチ選択し、該当バッチを開き、バッチをアクティブにします。測定値がある場合、画面上の統計量は、即時に計算された値が反映されます。バッチと結びついた校正設定値（例えば、Cal1）も開かれます。

閲覧

上下ボタンを使用して、現在、開かれているバッチの情報、統計の要約及び読取値の一覧をスクロールします。終了するには中央のナビゲーションボタンを押下して下さい。

ディスプレイ

測定時、画面上部の表示オプションを選択して下さい。

ショートカット:

上(Up)ボタンを押下して、表示オプションをスクロールして下さい。

注記:

表示オプションは、現在、バッチが開かれている場合のみ、表示されます。

プロンプトバッチ

PosiSoft Desktopにおいて、各測定データの画面に表示するテキスト及びイメージデータの定義を前もって作成し、次にポジテクタ200にアップロードします。
繰り返しの作業や指定の測定箇所が要求される時に、一貫した測定パターンを確保するのに便利です。

全取扱説明については､PosiSoft Desktop のヘルプを参照。

注記:
ポジテクタからテンプレートを削除しても、PosiSoft Desktopからは、
削除されません。

注釈
なじんだQWERTY キーボードを使用して、バッチ名を作成し、
計器に注釈を入力します。

タッチスクリーンあるいはナビゲーションボタンのいずれかを使用すると注釈を入力することができます。

注釈は、PosiSoft.net 及び PosiTector App と同期をとることができます。PosiSoft USB ドライブのレポートにも、注釈は含まれています。

印刷
統計量の要約及び個々の測定値をオプションのBluetooth
ワイヤレスプリンタに送信します。

注記:
印刷をキャンセルするには、(-) と (+)ボタンを同時に押下保持します。

テンプレートの削除
ポジテクタ本体からプロンプトされたバッチのテンプレートを削除します。

注記:
ポジテクタからのテンプレートを削除しても、PosiSoft
Desktopソフトウェアからは削除されません。

新 PA9
SSPC PA9 モードは、大きな面積上の厚さが、ユーザ規定の最大/最小レベルに適合するかどうか判断するのに役立ちます。

PA9 設定
必要に応じて、PA9 パラメータを調整します。

パラメータを調整するために､上下ボタンを使用して、
該当パラメータをハイライトします｡次に(-) と (+)ボタンを使用して、
パラメータを調整します。

詳細は、 www.defelsko.com/PA9　参照。

新規バッチ
開いているバッチを閉じ、次に利用可能な番号で新しいバッチを作成します。例えば、B1 及び B3だけが存在すると、B2 が作成され、現在のバッチとなります。
各測定値が表示され、この新しいバッチに格納されます。

画面上の統計量は、即座にこの測定値で更新されます。新しいバッチには、
作成時の日付及び時刻が貼付されています。

ショートカット: バッチが開かれている際、(+)を押下すると、
新しいバッチを作成します。

注記:
(-)ボタンを押下することにより、現在開かれているバッチから、
最後の読取値を削除します。

閉じる
記録を停止し、現在のバッチを閉じ、ディスプレイからバッチ情報を消去します。

削除
メモリからバッチあるいはサブバッチを削除します。バッチ名が削除され、
全ての測定値が消去されます。サブバッチは個々に削除することができます。
全ての関連サブバッチを消去するには、上位のバッチを消去するだけです。

バッチ要約
バッチ名、プローブ種別、各バッチの読取数の要約を表示します。

校正設定

校正、検証、調整

３つのステップにより、最良の精度を確保します。

1. 校正：通常、製造元で実施されます。
全てのプローブに校正証明書が添付されています。

2. 精度の検証：通常、添付のプラスチック片などの既知の厚さ標準、
試験ブロックあるいはオプションの膜厚標準を使用して、ユーザにより実施されます。

3. 調整 - 必要時、既知の膜厚を使用して実施。

校正とは、
結果が計器の規定された精度内であることをトレーサビリティを有した校正標準を測定し、
検証する管理化及び文書化された手順である。通常、
校正は文書化された手順を使用して､管理された環境において、
計器の製造元あるいは認定検査機関にて実施されます

検証とは、厚さ既知の標準を使用して、ユーザによって実施される精度確認です。
計器の精度及び参照標準の結合精度内の読取値であることが要求されます。

調整あるいは校正調整とは、特殊な利用状況における精度改善のために、
厚さ既知の参照サンプルに計器の厚さ読取値を合わせる操作です。

注記:

ポジテクタ200は、殆どのポリマーを特別な調整なく、測定します。

零点調整

プローブは、温度及びプローブの摩耗を補正するために、定期的に零点調整する必要があります。使用前、プローブを周囲温度に到達させて下さい。また、
プローブのカプラントの汚れを拭き取って下さい。

極度に温度の高いあるいは低い時の測定の場合、零点調整を測定環境にて実施することが推奨されます。粗い表面での測定の場合、プローブの摩耗を補正するために定期的な零点調整が推奨されます。

校正メモリ
別の測定前に、特殊な校正調整を保存しておくことは、しばしば便利です。
特殊な場合の部材測定に戻る際、該当の校正調整に戻ることができます。

画面の上部右端に、現在の校正設定（例えば、Cal3）が表示されます。
特殊な部材の測定に戻る際、保存した校正設定を選択することができます。Cal 1は調整することができますが､削除することはできません｡初期化(リセット)後､工場校正設定をアクティブにします｡読取値を含むバッチが開かれている場合､新しい校正設定を作成することはできません。

校正初期化
工場での設定値及び測定範囲に戻します。
工場調整アイコンがディスプレイ上に表示されます。

校正ロック
有効にすると、調整ロックアイコンが表示され、ユーザが実施した調整を保護するために、現在の調整をロックします。

ポリウレア
(ポジテクタ200　Dプローブのみ)
有効（デフォルト）の場合、
ポリウレア膜測定に最適された校正調整（プレープログラミング）をロードします。
ポリウレアがディスプレイの上部右端に表示されます。

注記:
ポリウレアモードの測定範囲: 50 - 5000 um (2 - 200 mils)

測定範囲
各プローブの測定範囲は、特殊な適用あるいは塗装システムの予想値により変更することができます。

殆どの場合、デフォルトの測定範囲の調整は必要ありませんが、
表面の粗いなどの場合、非常に低い値あるいは再現性のない結果となることがあります。このような場合、ユーザによって設定されたLo 値より大きい読取値のみ表示するよう､Lo 値を大きくしてください。

測定範囲を調整するには：

1. Lo あるいは Hiを選択します

2. (-) (+) ボタンを使用して、表示値を増加減します

重要：

ポジテクタ200は、設定された範囲外の読取値を無視します。
膜厚がこの範囲外の場合、不適切な読取値あるいはダッシュ（測定不可）を表示する場合があります。

厚さ

ポジテクタ200は、殆どのポリマーを特別な調整なく、測定します。

調整が必要かどうかを判断するには、
測定対象物と出来るだけ同じ組成の厚さ既知のサンプルを選択して下さい。
最適な結果を得るには、サンプルの厚さは、
測定対象の厚さの最大予測値と同じあるいは少し大きいものとするのが良い。

被膜サンプルを測定します。
一連の測定結果の平均が既知の厚さと近似していない場合

1. (-) あるいは (+) を使用して、
既知の厚さに合うよう表示されている測定厚さを増加減してください。

2. 多層を選択している高機能型モデルに対しては、
下ボタンを使用して次の層を選択し、必要に応じて調整します。

3. 調整を保存するために、下ボタンを使用して、了承（OK）をハイライトさせ、
中央のナビゲーションボタンを押下します。

条件設定
計器の構成オプションを設定します。

時計設定
全ての測定値には、メモリの格納時に日付及び時刻（２４時間フォーマット）
が貼付されます。それゆえ、
このメニューオプションを使用して現在の日付及び時刻を維持することは重要です。
上下ボタンを使用して、スクロールし、(-) 及び (+) で値を調整します。
計器の日付及び時刻を計器情報及びメインメニューの上部で閲覧することができます。

NTP
NTP (Network Time Protocol)を使用して、
WiFi上のリモートサーバとの自動時刻同期を有効にします。

NTP サーバアドレス及びTZ （タイムゾーン）詳細を入力します。ポジテクタは、
POSIX フォーマット使用して､タイムゾーンを設定を使用します。

USA における東部標準の入力は、次のとおり。

EST5EDT4,M3.2.0,M11.1.0

左から右へ。：

- EST5 はタイムゾーン名及びUTCからのオフセット です。

- EDT4 はサマータイムゾーン名及びUTCからのオフセットです。

- M3.2.0 はEDTの始まりで、Mは日付が‘Month.Week.Day’
フォーマットに従うことを示す。 3.2.0 は、３番目の月、２番目の週、
最初の曜日（日曜日）を表す。

- M11.1.0 はEDTの終わりを示し、Mは日付が‘Month.Week.Day’
フォーマットに従うことを示す。11.1.0 1は､11番目の月、1番目の週、
最初の曜日（日曜日）を表す。

詳細なNTP 規定は、 www.defelsko.com/NTP参照のこと

初期化
工場設定に戻り、計器を既知の状態に戻ります。詳細は次のとおりです。

全てのバッチ、保存データセット、バッチ名、スクリーンキャプチャは消去されます。

校正及、校正メモリ及び範囲調整はクリアされ、計器の工場設定に戻ります。
工場校正アイコンがディスプレイ上に表示されます。

メニューの設定は、次のとおりに戻ります。

メモリ = 切（OFF）
グラフィック =切
校正ロック(Cal Lock) = 入（ON）
自動減光(Auto Dim)=入（ON）
Bluetooth 及びストリーム =切（OFF）
Bluetooth BLE キーボード =　切
ディスプレイ = なし(None)
WiFi 及び アクセスポイント =切（OFF）
層数 = 1
層の名称 = Layer 1
層の色 = 青
最大厚モード =切

電源を切って､ハードリセットを実行します｡電源切った後､数秒待って、
初期化シンボルが表示されるまで、中央のナビゲーションボタン及び(+)
ボタンを同時に押し続けると、ハードリセットが実行されます。この操作により、
工場出荷状態に戻ります。メニューの初期化に加えて、下記の項目が復帰します。

Bluetooth ペアリング情報がクリアされ、メニュー設定は、次の状態に戻ります。

単位 = ミクロン
反転ロック =切（OFF）
言語 = 英語
音量 = 中位
タッチスクリーン =入（ON）
Bluetooth スマート =切（OFF）
バッテリ種別 = アルカリ電池
バックライト = 標準
USB ドライブ =入（ON）

注記:

日付、時刻、WiFiは初期化に影響されません。

層数

ポジテク200高機能型は、多層システムの個々の層の厚みを３層まで表示す
ることができます。このオプションを選択して、層数（デフォルト＝１層）、
名称及びチャートの色を編集します。

注記：
多層測定に対して、計器の設定を行う前に、単一層モードで最初測定し、
グラフィックオプションを用いて結果を評価することが推奨されています。

バッチを開いている際、上ボタンを押下して、チャートを閲覧して下さい。

層の選択
層の番号を選択して、表示してください。

注記:
多層測定に対して、計器の設定を行う前に、単一層モードで最初測定し、
グラフィックオプションを用いて結果を評価することが推奨されています。

層の編集
各層名称（７文字まで）及びチャートの色（青、緑、赤）を編集します。

単位
インチ系からメートル系及びその逆の単位切り替えを行います。
メモリに保存された測定結果は変換できません。
単位を切り替えるとメモリモードを終了します。

バッテリ種別
アルカリ電池、リチウム電池あるいはNIMH電池（充電式電池）の中から、
使用している電池を選択します。バッテリ状態のインジケータは、
選択された電池に基づいて計算されます。
計器に使用されている電池が誤っていても損傷は受けません。

音量
内蔵のスピーカの音量を調整します（切、低音量、中音量、高音量）。

タッチスクリーン
タッチスクリーン機能を無効にすることができます。全ての計器機能も、
ナビゲーションボタンで制御可能です。

バックライト
ディスプレイの明るさ（日中、通常、夜間）を選択します。
自動減光が有効（デフォルトは有効）の場合、バッテリ消耗を防ぐために、一定時間、
何の操作も行われない後、若干、減光します。下ボタンを押下すると、
ディスプレイを明るくします。

反転ロック
現在の方向にディスプレイをロックすることにより、自動反転を無効にします。

グラフィック
グラフィックが選択されていると、コーティングシステムを伝播す
る超音波反射波のグラフ表示を行います。

プローブを押し下げ、コーティングシステムに超音波が伝播されると、
超音波反射波は、被膜層間の界面、被膜と素地の界面での密度変化に遭遇します。

これらの界面は、反射波のピークとして現れます。密度変化が大きいほど、
ピークはより高くなります。密度変化が緩やかなほど、ピークの幅は広くなります。

例えば、２つの層が同じ材質及び混合されている場合、ピークは低く、広くなります。
非常に異なった密度及びよりはっきりとした界面の被膜層は、高く、
狭いピークとなります。

ポジテクタ200は、
非常に高いピークあるいは最も深いピークのいずれか一方に関連した厚さを測定す
ることができます。どちらになるかは、
最大厚さモードが有効になっているかどうかに依存します。数値表示されたピークは、
グラフ上で小さな赤色の三角で示されます。

上ボタン（左へ移動）及び下ボタン（右へ移動）を使用して、
グラフ表示上のアイコンをハイライトします。

最大厚さモード
デフォルトで、ポジテクタ200は、
測定範囲内の最も大きな超音波反射波（グラフィックノードでの最も高いピーク）
に関連した厚さを記録します。最も大きな反射波は、しばしば、
被膜-素地界面上のトータル膜厚を表します。多層が選択されていると、
最も大きい反射波は、個々の層厚として記録されます。

表面近傍の密度の相違のある表面粗さ 及び、または被膜厚が、
被膜-素地面からのものよりも大きな超音波反射波となり得ます。結果として、
予想値よりも低い値となります。これらの大きい反射波を無視す
るよう範囲Loを調整する場合、
信頼ある測定のためには予想値に非常に近い値に調整す
ることが必要になる場合があります。

最大厚さモード選択時、ポジテクタ200は、最大超音波反射波でなく、
最深面からの超音波反射波、即ちピークを膜厚として表示します。
素地界面上のトータル厚を求めるのに、しばしば、有効となります。また、

低範囲側を調整する必要もなくなります。

素地内からの小さな反射波があるので、
あらかじめ設定された閾値以上の反射波のみを厚さとして示します。
この閾値はグラフィックで調整することができます。多層選択時、
最深部に関連した層厚を表示します。

注記:

最大厚さモードは、
2.54mmより薄い金属素地あるいは複合材料及びファイバグラスのような素地に対しては、
推奨しません。

言語

選択された言語で、ディスプレイ表示及び印刷される文字を変換します。

機器情報

計器のモデル番号、本体のシリアル番号、プローブ種別及びプローブシリアル番号、
PosiSoft.net の登録キー、読取値保存用の残メモリ容量、日付、
時刻及びソフトウェアパッケージを表示することができます。

セキリティ目的のため、PosiSoft.net に計器を追加するには、登録キーが必要です。

接続
計器に対する通信及び接続オプションを構成します。

Bluetooth
Bluetooth 通信及び計器の接続オプションを構成します。

有効化
有効とした時、自動ペアリングBluetoothスマート(BLE)ワイヤレス技術を用いて、
PosiTector Appが動作するPCあるいはスマートデバイスとの通信が可能となります。

Bluetooth 設定
Bluetooth 入力/出力通信モードのオプション設定

入力デバイス
現在、
ペアリングされているBluetoothキーボードあるいはバーコードスキャナを表示します
。読取値及びバッチの注釈を入力するには、
外付けのBluetoothキーボードあるいはバーコードスキャナを使用してください。

新しいデバイスを追加するには、
キーボードあるいはバーコードスキャナをペアリングモードとし、次を押下します。
表示されているリストから入力デバイスを選択します。接続されると、計器は、
メインの測定画面に戻ります。接続が成功した旨を示す
Bluetooth入力(キーボード)アイコンが表示されます。

キーボード
BLE キーボードモードは、キーボードのキーストロークをエミューレートす
ることにより、PCとワイヤレスに通信します。このモードで接続されている時、
ポジテクタ高機能型は、簡単なBLEキーボードとして認識されます。
各読取値が取り込まれます（改行付）。この方法により、特別なソフトウェア、
ドライバあるいは複雑な設定なしで、取り込まれた読取値の取得が簡単にできます。

BLE キーボードモードの詳細情報については、
URL：www.defelsko.com/connect　を参照して下さい。

電源断時間
デフォルトで、計器は5分間何も操作されない後､ポジテクタ高機能型は、
電源オフします。測定時の接続を維持するために、
Bluetoothスマート経由で接続されている時、この電源断間隔は、調整す
ることができます。電源断間隔は、最大60分まで、5分増分にて選択可能です。(-)

及び (+)ボタンを使用して、間隔を調整し、次に了承を押下してください。

バッチ転送

PosiTector App へ選択されたバッチを転送します。バッチ転送は、
デバイス切り替える時、便利です。
スマートデバイスと既に同期されている読取値及びバッチのみが、
自動的に同期されます。

PosiTector App が動作しているスマートデバイスに計器が接続されている際、
バッチ転送オプションが表示されます。

バッチ同期

PosiTector Appと同期す
るバッチを選択してください。バッチの同期はバッチありの計器を新しいデバイスに接続す
る際に便利です。Bluetooth
スマートが有効の間に作成されたバッチのみが自動的に選択されます。

次の読取値が同期されているバッチに取り込まれた時、あるいは、
バッチの同期オプションが、選択されたバッチ一覧の末尾で選択されたされた時、
選択されたバッチが同期されます。

注記:

Bluetooth スマートが無効に設定されている場合、
バッチ同期メニューで選択されているバッチからのデータは、PosiTector App
との通信が再確立されるまで、キューに保持されています。

Bluetooth クラシック

Bluetooth ワイヤレス技術を使用してPC、
オプションのプリンタあるいは互換性のあるデバイスに読取値を送ることができます。
ペアリングが必要です。

www.defelsko.com/bluetooth 参照。

注記:

Bluetooth ワイヤレス技術を使用してPC、
オプションのプリンタあるいは互換性のあるデバイスに読取値を送ることができます。
ペアリングが必要です。

ペアリング
読取値は送信する前に、計器及び受信デバイスをペアリングする必要があります。

ペアリングについては、www.defelsko.com/bluetooth　参照。

有効化
Bluetooth ワイヤレス技術を使用してPC、
オプションのプリンタあるいは互換性のあるデバイスに読取値を送ることができます。
ペアリングが必要です。

ストリーム
シリアルプロトコルでUSB接続のPCに個々の読取値を送信します
。シリアル互換のSPCデータ収集ソフトウェアの使用に便利です。

www.defelsko.com/update 参照。

情報
現在、ペアリングしているデバイス及びMACアドレスなどのBluetooth
接続についての情報を表示します。

スマートプローブ
利用可能なポジテクタDPM-L及びCMM-ISスマートプローブを表示します。
表示されるにはスマートプローブの電源をオンする必要があります。

ショートカット:
計器のメインメニューにスマートプローブメニューオプションに追加するには、
ショートカットボックスにチェックを入れて下さい。

USB
添付のUSBケーブルを使用して、計器をPC/Macに接続します。
汎用のウェブブラウザ/ファイルエクスプローラあるいはPosiSoft Desktop
を使用して読取値及びグラフを閲覧及び印刷を実行します。

注記:
添付のUSBケーブルを接続すると、USBケーブルから電源が供給されます。
バッテリが使用されず、本体は、自動的に切れません。

同期

同期が選択されていると、PosiSoft.net (PosiSoft Desktop
が動作しているPCへのUSB接続が必要)と格納されている測定データを即座に同期します
。

もう一つの方法として、USB接続メニュー内から自動同期(Auto Sync.net)を選択し、
自動的にPCと同期を取ります。接続中にメモリ追加された測定データは、
USBケーブルが外され、再接続された時、もしくは同期(Sync.net Now)を選択すると、
同期されます。

注記:
PosiSoft.net と測定データと同期をとるには、PosiSoft DesktopのUSB接続が必要です。

USB ドライブ

USBドライブが有効の時、ポジテクタは、
USBフラッシュドライブ及びデジタルカメラと同じように保存データを読み出す
簡単なインターフェースのUSB大容量デバイスとして認識されます。USBドライブは、
保存されたデータをPosiSoft Desktop に取り込むのに必要です
。添付のUSBケーブルを使用してPCに接続すると、
PosiTectorと呼ばれる仮想ドライブを操作することにより、
どのPCからでもメモリ内測定データを閲覧することができます。

注記:
添付のUSBケーブルを接続すると、USBケーブルから電源が供給されます。
バッテリが使用されず、本体は、自動的に切れません。

JSON ファイル

有効設定(デフォルト)の場合、PosiSoft USBドライブ内で、
JSONファイルが利用できます
。データベース及びカスタムソフトウェアへのファイル解析が可能となります。

注記:
オプションを無効にすることにより、USBに最初、接続された時、PCがPosiTector
を認識する時間を減少させることができます。

HTML レポート

有効(デフォルト)設定の場合、HTML
フォーマットのレポートをルートディレクトリ内のindex.htmlあるいは
START_HERE.htmlを選択することにより、閲覧できます。オプションで、
各バッチフォルダ内のテキストファイル(.txt)へのアクセスが可能です。
保存測定データ及びグラフを汎用ウェブブラウザあるいはファイルエクスプローラを

使用して閲覧あるいはコピーできます
。

注記:
オプションを無効にすることにより、USBに最初、接続された時、PCがPosiTector
を認識する時間を減少させることができます。

ストリーム
シリアルプロトコルでUSB接続のPCに個々の読取値を送信します
。シリアル互換のSPCデータ収集ソフトウェアの使用に便利です。

USBキーボード及びストリーミングの情報は、URL:www.defelsko.com/usb/stream
参照。

自動同期
有効の場合、PosiSoft Desktop が動作しているPCに接続した時に、
測定値は自動的にPosiSoft.net と同期します。接続中にメモリ追加された測定データは、
USBケーブルが外され、再接続された時、もしくは同期(Sync.net
Now)が選択された時に同期されます。

注記:
PosiSoft.net と測定データと同期をとるには、PosiSoft DesktopのUSB接続が必要です。

USB キーボード
USB キーボードモードは、PCと接続時、高機能型本体を、
USBキーボードのエミュレートを可能にします。

USBキーボードモードは、キーボードのキーストロークをエミュレートす
ることにより、PCと通信します。このモードでの接続時、
ポジテクタ高機能型本体を簡単なUSBキーボードとして認識します。
各読取値を取り込み、復帰改行（enter）します。この方法により、
特別なソフトウェア、ドライバあるいは複雑なセットアップすることなく、
読取値を取り込めます。

USB キーボードモードのさらなる情報は、URL: www.defelsko.com/connect
を参照してください。

キーボードのフォーマット
デフォルトで、キーボードモードにおいて測定値が転送される際、
復帰改行（エンター）によって、進められる。キーボードフォーマットは、

書式あるいはソフトウェアのフィールドの入力要件に合うよう、
区切り文字をカストマイズすることができます。

さらなる詳細は、www.defelsko.com/connect:

WiFi

ローカルワイヤレスネットワークあるいはモバイルホットスポットへの接続を可能にします
。
保存された測定データとSoft.netとを同期させるためにネットワークのインターネットコネクションを使用す
ることは便利です。

www.defelsko.com/wifi　を参照

条件設定オプション

計器のWiFi構成オプションの設定

AP チャネル

帯域関連のアクセスポイントチャネル（デフォルトチャネル：６）。

殆どのユーザに対して、デフォルトのチャネルの変更は必要はありません。
ネットワークのつながりが悪い､あるいは接続できない場合、
別のチャネルを試してみてください。

上ボタンを押下してチャネルをハイライトして下さい。(-) 又は (+)ボタンを使用して、
チャネルを変更してください。下ボタンを押下し、了承（OK）を選択します。

計器名

計器（１４文字まで）に対する名称を入力します。
ローカルネット上での計器識別に役立ちます。

サーバ有効化

計器は、
接続されているネットワークデバイスによってアクセスできるウェブサーバを有しています
。このオプションは、ネットワークと計器間の接続を有効にします。
計器サーバにアクセスために、
インターネットブラウザを使用して計器IPアドレス:8080を閲覧します。

IP 設定
手動にて、ネットワークIP情報を入力します。

IP 種別 (DHCP 又は Static), IP アドレス, ゲートウェイ,ネットマスク、DNS1、 DNS2

詳細は、ネットワーク管理者又はIT部門に問い合わせ下さい。

AP パスフレーズ
WiFiネットワークのログオンに使用される一連の文字、数字あるいは記号。
デフォルトのパスフレーズ（パスワード）: password

中央のナビゲーションボタンを押下して、画面上にキーボードを表示します。
アクセスポイントのパスフレーズ（パスワード）を入力して下さい。
ポジテクタ・アクセス・ポイントに接続する全てのデバイスに対して、
パスフレーズ（パスワード）が必要です。

ポジテクタは全てのWiFi可能なデバイスを見ることができます。
単に新しいポジテクタアクセスポイントにデバイスをWiFi接続して下さい。
全てのポジテクタは、計器のシリアル番号あるいは計器名で識別されます。

WiFi 初期化
全ての以前のネットワーク構成を消去し、デフォルトのWiFi設定に戻します。

WiFi ストリーム
読取値をWiFi接続のデバイスあるいはPCへ無線にてストリーミングします。

有効の場合、計器は、指定のURLへ各読取値の取得要求（GET request）を送ります。
URLは読取値に関係した数値をポジテクタ（PosiTector）
によって置き換えられたタグを含んでおります。この方法は､ポジテクタ本体をIOT(
Internet of Things)デバイスとして認識します。
WiFiネットワークを使用しているユーザに対して便利であり、
アプリケーションあるいはデータベースに読取値をライブ配信するす
要望からのものです。

WiFiストリーミングの詳細情報についてはURL：www.defelsko.com/connect　参照して下さい。

自動同期
有効の場合､電源オンした際、保存測定データとPosiSoft.net
(インターネット接続が必要）とを自動同期させます。 あるいは、同期を選択し、
測定データを直接同期させます。

アクセスポイント
ワイヤレスネットワークを作成して、スマートデバイスあるいはPCを直接、
ポジテクタ（PosiTector）に接続可能とします。
WiFiネットワークが利用できない時、便利です。

有効にするには、接続＞WiFiメニューからアクセスポイントを選択して下さい。
アクセスポイントアイコンは、ディスプレイの上部左側に表示されます。

アクセスポイントの保護
ポジテクタ（PosiTector）が、許可されたデバイスのみにアクセスできるようにす
るためにアクセスポイントのパスフレーズ（パスワード）を入力することが重要です。
デフォルトのパスフレーズは、password です。

接続> WiFi　>　条件設定　メニューで、APパスフレーズ（を選択して、
デフォルトのパスフレーズ（パスワード）を変更できます。

有効化
ローカルWiFiネットワークとの接続を可能とするために選択します。
WiFiアイコンが表示され、計器が以前構成されたネットワークへの接続を試みます。
ネットワークメニューオプションから新しいネットワークに接続して下さい。

ネットワーク
全ての利用可能なWiFiネットワークを検索し、表示します。ネットワークを選択し、
次に必要なら、パスワードを入力します。
ディスプレイ上にWiFiアイコンが表示されます。

注記:ネットワークが表示されない場合もあり、
追加ネットワークオプションを使用して、手動での構成が必要となる場合もあります。
サポートが必要な場合、ネットワーク管理者あるいはIT部門に相談して下さい。

WiFi 情報
次に示すローカルWiFiネットワーク接続情報を表示します。

SSID:
ネットワークの名称

状態:
ネットワーク接続のステータス

IP アドレス:
ネットワーク上の計器に対するIPアドレス

同期
同期が選択されていると、保存測定データをPosiSoft.net
(インターネット接続が必要）と直接同期します。

更新
計器のソフトウェア更新が必要かどうかを判断します。

計器のソフトウェア更新を実施するために、計器は、
ポジソフト・デスクトップ（PosiSoft Desktop）
が動作しているインターネットあるいはWiFi接続されている必要があります。

www.defelsko.com/update 参照。

警告:
計器は更新後、ハードリセットされます。全ての測定データは、
メモリから消去されます。

ヘルプ

メニューオプションがハイライトされている際、計器のヘルプを示す
(i)アイコンが使用できます。(+) ボタン押下あるいはヘルプアイコンをタッチして、
ヘルプを表示します。計器の更新を実行し、
計器のヘルプ情報が最新になっているか確認して下さい。

全てのヘルプ項目を含むPDFがwww.defelsko.com/helpで利用できます。

メニュー操作

メニューを操作するために、計器の電源を入れ、
次に中央のナビゲーションボタンを押下します。メニュー操作をするために、
キーパッドあるいはタッチスクリーンを使用することができます。必要に応じて、
条件設定>タッチスクリーンメニューでタッチスクリーン機能を無効とす
ることができます。

該当項目をタッチあるいは上下ボタンを使用して希望のオプションをハイライトさせます
。次に中央のナビゲーションボタンを押下して決定してください。

1頁以上のメニューの場合、現在の頁番号がページメニュー名の下部に表示されます
。最初のメニュー項目の頁が表示されている際、
上ボタンを使用してページの移動あるいは最終の頁が表示されている際、
下ボタンを使用して移動します。タッチスクリーンを使用している際、
左あるいは右矢印を使用して、あるいは上下にスワイプして頁間を移動、して下さい。

(-) ボタン押下あるいは右側にスワイプして、前頁に戻ってください。終了を選択して、
メニューを閉じてください。

>付メニューオプションは、
メニューオプションに対してサブメニューがあることを示します
。オプションを選択して、サブメニューを表示します。

スクリーンキャプチャ

(-) 及び (+)ボタンを同時に押下すると現在の表示画面を保存できます。
100件のスクリーンキャプチャがメモリに保存され、PCに接続された時、PosiSoft USB
ドライブ経由で、アクセスすることができます。

電源切断

電池寿命を保護するために、計器は5分間何も操作されない後、
自動的にスリープ状態となり、スリープモードに入ります。スリープモードでは、
計器はより速く、電源オンします。測定部材あるいは測定箇所を変更する際、便利です
。4時間、計器の操作が行われない時、完全に電源オフとなります。ます
。もう一つの方法として、メインメニューで、電源切を選択します
。全ての設定は保存されています。

DeFelsko®
The Measure of Quality

www.defelsko.com

© 2023 DeFelsko Corporation USA
All Rights Reserved

限定保証、唯一の救済措置、限定責任

DeFelsko の唯一の保証、救済、および責任は、同社のウェブサイト www.defelsko.com/termsに記載されている明示的な限定保証、救済、および限定責任となります。

本マニュアルの著作権はすべて保護されており、DeFelsko Corporation の書面による許可なく、その全部または一部をいかなる方法によっても複製または転送することを禁じます。

DeFelsko、PosiSoft、および PosiTector は、米国およびその他の国で登録された DeFelsko Corporation の商標です。その他のブランド名または製品名は、各所有者の商標または登録商標です。

本マニュアルに記載された情報が正確であることを保証するために、あらゆる努力が払われています。DeFelskoは、印刷の誤りや誤字について責任を負うものではありません。